

京都丹波

まな Viva!

「京都丹波 まな Viva!」は、学校と先生を応援する南丹教育局の学びのニュースです。

急激に変化する時代において、必要とされる資質・能力を育む上で、読解力や想像力、表現力等を養う読書活動の重要性が見直されています。本号では、令和5年3月に文部科学省より出された、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の概要、管内の好事例について紹介します。

「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」

- 「子どもの読書活動の推進に関する法律」(H13)に基づき策定。
- 子どもの読書活動の推進に関する有識者会議による議論を経て、R5~9年度の子どもの読書活動推進に関する基本方針と具体的方策を明らかにした。



第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画の概要

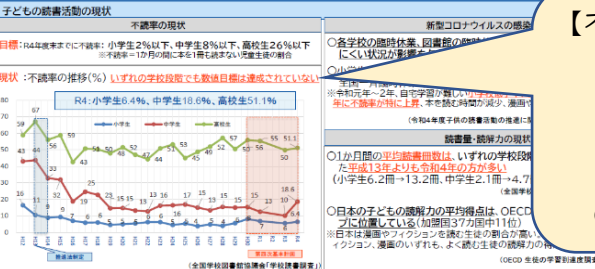
- 趣旨
- 「子どもの読書活動の推進に関する法律」(H13)に基づき、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(計画おむね5年)を策定
 - 子どもの読書活動の推進に関する有識者会議による議論を経て、R5~9年度の子どもの読書活動推進に関する具体的な方策を明らかにする

第1章 近年における子どもの読書活動に関する状況等

- 増加している点：図書館数、図書館でのオンライン閲覧目録の導入率、学校司書を配置する学校等の割合は増加
- 減少している点：図書館の児童用図書の貸出冊数、全校一斉の読書活動を行う学校の割合は減少

【近年における子どもの読書活動に関する状況等】

- 図書館数、図書館でのオンライン閲覧目録の導入率、学校司書を配置する学校等の割合は増加
- 図書館の児童用図書の貸出冊数、全校一斉の読書活動を行う学校の割合は減少



【不読率の現状】

- 不読率=1か月の間に本を1冊も読まない児童生徒の割合
- 〈目標〉小学生2%以下、中学生8%以下、高校生26%以下
- 〈現状(R4)〉小学生6.4%、中学生18.6%、高校生51.1%
- いずれの学校段階でも数値目標は達成されていない。

第2章 基本方針

急激に変化する時代において、必要とされる資質・能力を育む上で、読解力や想像力、想像力、表現力等を養う読書活動の推進は不可欠であり、全て社会全体で子どもの読書活動を推進する

- 1 不読率の低減
- 2 多様な子どもたちの読書機会の確保
- 3 デジタル社会に対応した読書環境の整備
- 4 子ども視点に立った読書活動の推進

- ・就学前からの読み聞かせ等の促進
- ・入学時等の学校図書館のオリエンテーション等の充実

第3章 子どもの読書活動の推進体制等

- 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体と連携し必要な体制整備に努める
- 都道府県、市町村は、子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画策定に努める(推進法第9条)
- ※ 地方公共団体の判断により、教育振興基本計画などの計画との統合や他の地方公共団体との共同策定も可能

- ・特別支援学校を含めた学校図書館資料の整備
- ・多様な背景を持つ子どもへの読書機会の場の提供
- ・図書館、ボランティア等との連携
- (団体貸出、出張読み聞かせ、絵本を通じた異年齢交流会、各教科等における図書館の活用促進等)

- ・1人1台端末の活用(学校図書館システム等のリンク等)
- ・電子書籍貸出サービスの導入(図書館の電子書籍貸出サービス等との連携)
- ・学校図書館図書情報のデータベース化

子どもの読書活動の推進に当たっては、**家庭、地域、学校等が中心となり、社会全体で取り組む必要**がある。

- ・子どもの意見聴取の機会の確保
- ・図書委員等の子どもの学校図書館の運営への主体的な参加

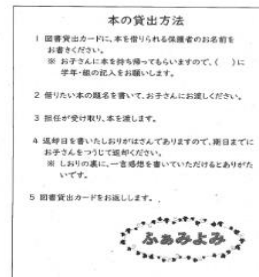
例えば

管内の取組

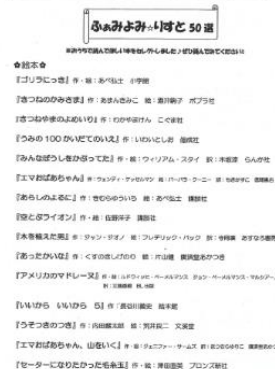
ふあみよみ(ファミリー読書)

○家族で読書に親しめるよう、亀岡市立図書館から本を借り、保護者に貸し出しを行っている。本の選定は学校司書が行い、家族で楽しめる本、保護者に読んでもらいたい本等を選んでいく。本は学期ごとに入れ替え、リストを保護者に配布し、児童を通して読みたい本の受け渡しを行っている。また、ひとこと感想を添えて返却をお願いし、保護者や児童から寄せられた感想を「ひとこと感想集」にまとめ保護者に配布している。

亀岡市立詳徳小学校



「ひとこと感想」が書かれたしおり



「SDG's」コーナー

美山の森コーナー



読み聞かせボランティアによる読み聞かせスペシャル

特設コーナー&読み聞かせ

○特設のコーナーを充実させ、オーサービジットに来られる作家の人の本を集めたコーナーを設置したり、新しい本の紹介などを定期的に掲示したりする。

○校区内の読書ボランティアサークル「よよよむ」による朝の読み聞かせ(毎月曜日 全学年)。絵本の世界を豊かに体験できるよう、生演奏を付けたり、ICT を活用して映像を流したりすることもある。

南丹市立美山小学校

社会全体で行う読書推進

○令和5年4月から新たに「京丹波町図書館」としてスタートした。思わず本を手に取りたくなるようなレイアウト、心とらぐ木の香りなど、読書がしたくなるしかけにあふれている。

○京丹波町では、こども園や小学校、図書館の分館や地域サロン、養護老人施設を中心に週3日程度移動図書館車で巡回している。

京丹波町



移動図書館車(めばえ号)

「子ども読書の情報館」(文部科学省)には、「子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)文部科学大臣表彰」被表彰者の読書活動に関する全国の取組事例が掲載されています。また、「新・京の読書ワールド」(京都府教育委員会)でも、京都府の取組や読書に関わる情報が発信されています。是非、ご覧ください。

